



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4419 URL <https://hd.finatext.com/>
代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 良太
問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 伊藤 祐一郎 (TEL) 03(6265)6828
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,644	72.7	172	—	168	—	117	—
2024年3月期第1四半期	952	54.1	△128	—	△129	—	△140	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 123百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △154百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.34	2.23
2024年3月期第1四半期	△2.84	—

(注) 2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	16,198	8,873	51.3
2024年3月期	20,175	8,721	40.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 8,306百万円 2024年3月期 8,181百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,627	41.9	686	234.8	643	230.8	180	—	3.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	50,070,184株	2024年3月期	50,070,184株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	一株	2024年3月期	一株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	50,070,184株	2024年3月期1Q	49,414,614株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものにするを目標としております。

今般、日本の経済は新型コロナウイルス感染症の影響が薄まり、政府や日銀による各種経済政策の効果も相まって社会活動の正常化に向けた動きが見られ、経済が持ち直し始めているものの、世界的な金融引き締めによる物価高騰や急激な円安などの影響もあり、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、金融インフラストラクチャ事業のビジネスが伸長し、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,644,349千円（前年同期比72.7%増）、営業利益は172,155千円（前年同期は128,924千円の営業損失）、経常利益は168,581千円（前年同期は129,327千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117,265千円（前年同期は140,145千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供しております。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にサービス提供を開始したパートナーからの保守運用業務によるストック収益、及び投資一任サービスを提供するパートナーの顧客が保有するAUM（運用資産残高）の拡大等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。サービスの初期開発については、当第1四半期連結累計期間中の新規ローンチはなかったため、「BaaS」上での稼働サービス数は12サービス（前連結会計年度末時点：12サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向け、当社グループの保険基幹システムである「Inspire」の機能拡充に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、新規パートナーへの初期導入はなかったものの、既存パートナーによる取扱保険商品の追加にかかる開発が売上高の拡大に寄与しました。当第1四半期連結累計期間中の新規ローンチはなかったため、「Inspire」の導入企業数は9社（前連結会計年度末時点：9社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャの基盤開発に注力しました。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャ、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は871,153千円（前年同期比117.5%増）、セグメント利益は50,796千円（前年同期は214,935千円のセグメント損失）となりました。

(ii) フィンテックソリューション事業

フィンテックソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

ソリューションビジネスでは、生命保険の見直し、比較、専門家への相談予約がワンストップでできるウェブサービスの開発を通じて、保険代理店のデジタルトランスフォーメーションの支援を進めました。

以上の結果、フロー収益が拡大し、当第1四半期連結累計期間のフィンテックソリューション事業の売上高は396,625千円（前年同期比34.2%増）、セグメント利益は57,921千円（前年同期比128.3%増）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを機関投資家や官公庁に提供するデータライセンスビジネス、生成AIの活用を支援するデータAIソリューションビジネス、企業のデータ利活用を支援するデータ解析支援ビジネスを行っております。

データAIソリューションビジネスは、今年度から新規事業として開始し、データウェアハウスから業務アプリケーションまで網羅的に支援できる体制の構築を行いました。

以上の結果、「Alterna Data」の契約件数が引き続き好調に伸長したことに加え、生成AIに関連するプロジェクトを複数獲得したことで、当第1四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は376,570千円（前年同期比47.0%増）、セグメント利益は61,662千円（前年同期比44.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は16,198,330千円となり、前連結会計年度末に比べて3,977,461千円減少いたしました。

流動資産は15,508,013千円となり、前連結会計年度末と比較して4,051,965千円減少いたしました。これは主に証券業における預託金、信用取引資産、並びに短期差入保証金があわせて5,644,580千円減少した一方、現金及び預金が1,428,727千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は690,317千円となり、前連結会計年度末と比較して74,504千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が56,215千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,324,731千円となり、前連結会計年度末と比較して4,129,124千円減少いたしました。

流動負債は6,887,534千円となり、前連結会計年度末に比べて4,015,665千円減少いたしました。これは主に証券業における預り金、信用取引負債、並びに受入保証金が3,962,691千円減少したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は437,197円となり、前連結会計年度末に比べて113,459千円減少いたしました。これは長期借入金が66,600千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は8,873,598千円となり、前連結会計年度末に比べて151,663千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が117,534千円増加し、新株予約権が27,733千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,768,814	6,197,541
売掛金	814,966	372,033
契約資産	171,679	259,324
営業貸付金	816,448	940,168
買取債権	68,461	143,979
証券業における預託金	7,571,000	4,451,000
証券業における信用取引資産	3,613,067	1,341,913
証券業における短期差入保証金	1,097,456	844,029
未収入金	195,595	262,313
その他	450,812	708,618
貸倒引当金	△8,321	△12,910
流動資産合計	19,559,978	15,508,013
固定資産		
有形固定資産	108,779	105,280
無形固定資産	266,434	322,650
投資その他の資産	240,599	262,386
固定資産合計	615,813	690,317
資産合計	20,175,791	16,198,330

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	68,642	39,139
契約負債	227,099	388,801
未払金	550,574	372,521
証券業における預り金	4,571,730	3,641,065
証券業における信用取引負債	1,021,650	205,716
証券業における受入保証金	3,055,206	839,113
1年内返済予定の長期借入金	266,400	266,400
未払法人税等	163,567	80,344
賞与引当金	-	56,750
信託型ストックオプション関連損失引当金	-	38,949
その他	978,327	958,731
流動負債合計	10,903,199	6,887,534
固定負債		
長期借入金	400,400	333,800
繰延税金負債	7,910	-
信託型ストックオプション関連損失引当金	38,949	-
資産除去債務	42,160	42,160
固定負債合計	489,419	375,960
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	61,237	61,237
特別法上の準備金合計	61,237	61,237
負債合計	11,453,856	7,324,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	105,139	105,139
資本剰余金	12,232,959	12,232,959
利益剰余金	△4,169,231	△4,051,697
株主資本合計	8,168,866	8,286,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△16
繰延ヘッジ損益	△3,600	-
為替換算調整勘定	16,384	19,983
その他の包括利益累計額合計	12,777	19,966
新株予約権	38,390	66,123
非支配株主持分	501,900	501,108
純資産合計	8,721,935	8,873,598
負債純資産合計	20,175,791	16,198,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	952,358	1,644,349
売上原価	444,098	637,727
売上総利益	508,259	1,006,621
販売費及び一般管理費	637,184	834,466
営業利益又は営業損失(△)	△128,924	172,155
営業外収益		
受取利息	646	1,428
受取配当金	-	3
消費税等差額	2,420	371
その他	256	986
営業外収益合計	3,323	2,789
営業外費用		
支払利息	334	1,736
為替差損	3,318	4,350
その他	73	275
営業外費用合計	3,725	6,363
経常利益又は経常損失(△)	△129,327	168,581
特別利益		
特別損失		
減損損失	4,750	7,733
信託型ストックオプション関連損失	-	3,667
特別損失合計	4,750	11,401
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134,077	157,180
法人税、住民税及び事業税	26,572	73,293
法人税等調整額	356	△30,454
法人税等合計	26,929	42,839
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△161,006	114,341
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,860	△2,924
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△140,145	117,265

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△161,006	114,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	22
繰延ヘッジ損益	△10,599	3,600
為替換算調整勘定	17,451	5,999
その他の包括利益合計	6,865	9,622
四半期包括利益	△154,140	123,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,517	124,488
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,623	△524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	159,639	—	—	159,639	—	159,639
保険インフラストラクチャ ビジネス	127,269	—	—	127,269	—	127,269
クレジットインフラストラク チャビジネス	30,191	—	—	30,191	—	30,191
マーケティングビジネス	—	26,235	—	26,235	—	26,235
ソリューションビジネス	—	269,326	—	269,326	—	269,326
データライセンスビジネス	—	—	244,833	244,833	—	244,833
データAIソリューション ビジネス	—	—	11,150	11,150	—	11,150
データ解析支援ビジネス	—	—	250	250	—	250
顧客との契約から生じる収益	317,099	295,562	256,233	868,895	—	868,895
その他の収益	83,462	—	—	83,462	—	83,462
外部顧客への売上高	400,562	295,562	256,233	952,358	—	952,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	400,562	295,562	256,233	952,358	—	952,358
セグメント利益又は損失(△)	△214,935	25,376	42,654	△146,904	17,980	△128,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額17,980千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額17,980千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	495,820	—	—	495,820	—	495,820
保険インフラストラクチャ ビジネス	209,145	—	—	209,145	—	209,145
クレジットインフラストラク チャビジネス	62,587	—	—	62,587	—	62,587
マーケティングビジネス	—	28,601	—	28,601	—	28,601
ソリューションビジネス	—	368,023	—	368,023	—	368,023
データライセンスビジネス	—	—	308,554	308,554	—	308,554
データAIソリューション ビジネス	—	—	55,671	55,671	—	55,671
データ解析支援ビジネス	—	—	12,344	12,344	—	12,344
顧客との契約から生じる収益	767,552	396,625	376,570	1,540,748	—	1,540,748
その他の収益	103,600	—	—	103,600	—	103,600
外部顧客への売上高	871,153	396,625	376,570	1,644,349	—	1,644,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	871,153	396,625	376,570	1,644,349	—	1,644,349
セグメント利益	50,796	57,921	61,662	170,380	1,774	172,155

(注) 1. セグメント利益の調整額1,774千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額1,774千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来の収益の分解情報の区分を変更しております。これまで「データ解析支援ビジネス」に含めておりました「データAIソリューションビジネス」について、量的な重要性が増したため、収益の分解情報の区分として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	16,427千円	24,344千円